

平成21年度社団法人日本小児保健協会理事・支部長会議事録

日時：平成21年4月17日（金）18：00～19：00

会場：奈良県立婦人会館

出席者：衛藤 隆（会長）・加藤達夫（副会長）・有賀正・五十嵐隆・小板橋靖・高橋孝雄・平岩幹男・福永慶隆・春木伸一・山崎嘉久・布井博幸・松石豊次郎（理事）・青木継稔（監事） 他 各支部長 27名
理事 25名中 12名出席 委任状 11 理事会は成立した。

議長：衛藤 隆 会長

議事録署名人：後藤彰子（神奈川）・山崎嘉久（愛知）両氏が推薦され承認された。

報告事項

1. 平成20年度 人事報告

*平成20年度人事報告に関して福永常任理事より報告があり承認された。

(1) 会員数

	平成20年3月31日	平成21年3月31日
会 員	4,962名 (正会員 4,633 団体 329)	4,865名 (正会員 4,563名 団体 302)
賛助会員	16社	15社

1) 平成20年度新入会員数（団体・賛助除く） 299名

<職種別新入会者>

医師74名、歯科医4名、保健師23名、助産師6名、看護師62名、
栄養士5名、養護教諭1名、保育士5名、教職・研究職90名、その他29名
合計299名

2) 平成20年度退会会員数（団体・賛助除く） 307名＋転居先不明62名

<職種別退会者>

医師113名、歯科医5名、保健師20名、助産師8名、看護師33名、栄養士1名、
養護教諭1名、保育士5名、教職・研究職51名、その他17名、不明53名
合計307名

<主な退会理由>

分野の変更、退職、研究活動を行わないため協会活動に参加が困難
学会参加が困難、高齢・引退

参考

<職種別会員>

医師 1,927 名、歯科医 133 名、保健師 176 名、助産師 86 名、看護師 392 名、
栄養士 54 名、養護教諭 17 名、保育士 38 名、教職 726 名、その他 200 名、
不明 814 名 合計 4,563 名 (平成 21 年 3 月 31 日現在)

(2) 人事について

1) 支部長交代

(支部)	(旧)	(新)
北海道	藤枝 憲二	有賀 正
栃 木	白石 裕比湖	杉田 憲一
石 川	佐藤 保	小泉 晶一
兵 庫	中村 肇	高田 哲
熊 本	三池 輝久	木村 重美 (代行)
大 阪	西田 勝	岡本 伸彦
群 馬	森川 昭廣	荒川 浩一
富 山	摂津 浩二	本間 一正

(敬称略)

2) 代議員交代

(支部)	(旧)	(新)
岡 山	岡 鏝次	下野 勉

(敬称略)

3) 平成 20 年度名誉会員

北海道 : 奥野 晃正
群 馬 : 竹内 政夫
東 京 : 高野 陽
神奈川 : 松山 秀介
大 阪 : 西田 勝

(敬称略)

4) 訃報

- ・ 堺 薫先生 新潟大学名誉教授 平成 20 年 10 月 28 日 82 歳
- ・ 南部春生先生 名誉会員 平成 20 年 12 月 9 日 75 歳

- ・原田研介先生 前日本大学医学部小児科教授 平成 21 年 2 月 23 日 67 歳
- ・清水凡生先生 元副会長、名誉会員 平成 21 年 3 月 12 日 83 歳

2. 庶務報告

*福永常任理事より報告がなされた。

(1) 特例法人日本小児保健協会定款 厚生労働省承認 平成 21 年 3 月 18 日
平成 21 年 3 月 18 日付けで厚生労働省より定款の一部変更について許可された。

(2) 役員・代議員改選について

役員・代議員の任期満了に伴い、定款及び定款施行細則に則り、平成 21 年に改選を行う。

1) 平成 21 年度中央選挙管理委員長および委員を選出し決定した。

・第 1 回中央選挙管理委員会開催し、代議員・理事選出方法、日程を決定した。

2) 日程・選出方法 (伊藤中央選挙管理委員長)

・平成 21 年度代議員・理事選出要項 (p. 9-10) を説明された。

・代議員選出数を定款と一致させるため、代議員の選出数を 26 人から 23 人に 1 人に変更し、平成 21 年度に各県が選出する代議員数と各ブロックの理事人数割りを承認され、総会にて報告する事とした。

3. 日本小児保健学会開催計画

(1) 第 56 回 (平成 21 年) 日本小児保健学会

会頭：大菌 恵一 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学教授)

メインテーマ「すくすく育て、こころとからだ」

日時：平成 21 年 10 月 29 日 (木) ～31 日 (土)

会場：大阪国際会議場

(大菌会頭に代わり西田先生が報告)

(2) 第 57 回 (平成 22 年) 日本小児保健学会

会頭 内山 聖 新潟大学医学部小児科教授

日時：平成 22 年 9 月 16 日 (木) ～18 日 (土)

会場：朱鷺メッセ 予定

(内山会頭に代わり浅見先生が報告)

4. その他

*各担当常任理事より報告がなされた。

(1) 都道府県各支部主催の研修会共催事業の推進（衛藤会長）

第 55 回学会終了後、各支部に研修会開催等の支部活動についてアンケート調査を行ったところ、財政的に厳しい或いは悪化しているとの回答が多数あった。

当協会と共催の形であれば 5 万円を限度として研修会開催助成金を拠出することを報告された。

(2) 平成 20 年度名誉会員の推薦（福永常任理事）

各都道府県支部長は、平成 21 年 7 月末日までに事務局に提出するよう要請された。

(3) 小児保健奨励賞（衛藤会長代理）

各都道府県支部長は、平成 21 年度実践活動助成 候補者があれば、会長宛の推薦状を平成 21 年 6 月末日までに事務局へ郵送するよう要請された。

(4) 平成 20 年度支部活動状況報告提出のお願い（小板橋常任理事）

各都道府県支部長は、支部活動報告を 400～600 字にまとめて、平成 21 年 6 月 2 日までに編集部へ提出するよう要請された。(小児保健研究 68 巻 4 号掲載予定)

(5) 第 26 回小児保健セミナー開催（高橋常任理事）

日時：平成 21 年 6 月 21 日（日） 10:00 AM～5:00 PM

会場：国立成育医療センター講堂（東京都世田谷区大蔵 2-10-1）

テーマ 『乳幼児健診とその周辺、いま知っておきたいこと』

参加申込は、4 月 16 日現在 160 名を超えており順調である。

(6) 公益法人ならびに各種規則整備について（平岩常任理事）

定款を含む規則整備に庶務と行政書士の協力を得て着手した旨報告があった。

審議事項

1. 平成 20 年度事業実施報告（案）

*平成 20 年度人事報告に関して福永常任理事より報告があり承認された。

(1) 平成 20 年度総会

1) 春季総会

平成 20 年 4 月 25 日（金）、東京国際フォーラムにおいて開催し、出席社員 184 名の内委任状 134 名、社員の過半数に達したことを確認した上、議長に土屋正己氏を選出、議事録署名人に飛田正俊（東京都）・村上睦美（東京都）両氏を指名し開会し、下記の議案は、提案通り承認された。

①平成 19 年度事業報告

②平成 19 年度収支決算および監査報告

2) 秋季総会

平成 20 年 9 月 26 日(金)、札幌コンベンションセンターにおいて開催、出席社員 179 名の内委任状 128 名、社員の過半数に達したことを確認した上、議長に堤裕幸氏を選出、議事録署名人に土屋正己(東京都)・服部益治(兵庫県)両氏を指名し開催し、下記の議案は、提案通り承認された。

- ①平成 20 年度事業報告
- ②平成 21 年度事業計画案
- ③平成 21 年度収支予算案

(2) 役員会等の開催

全国理事会 2 回、支部長会 2 回、常任理事会 4 回、代議員会 2 回、合同委員会 1 回、編集委員会 6 回、予防接種・感染症委員会 4 回、発育委員会 1 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 1 回、学校保健委員会 4 回、栄養委員会 1 回、小児医療委員会(チャイルドシート検討委員会 1 回・事故予防検討会 1 回) 2 回、乳幼児健診システム委員会 5 回、平成 21 年度中央選挙管理委員会、健やか親子 21 推進協議会第 4 課題 1 回を、平成 20 年度に開催し、本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

(3) 日本小児保健学会の開催

- ・第 55 回日本小児保健学会を開催。

会頭：堤 裕幸 教授(札幌医科大学医学部小児科学教室)

日時：平成 20 年 9 月 25 日(木)～27 日(土)

会場：札幌コンベンションセンター(北海道札幌市)

テーマ：「家族、学校、社会の絆を太くする」

参加者数は約 1,000 名であった。

(4) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」67 巻 3 号～68 巻 2 号を発刊した。
- ・「小児保健シリーズ」“No. 62 思春期の子育て支援～小児科の新たな課題～”を刊行した。

(5) 講演会等の開催

- ・研究会・講演会等を開催(支部と共同)。
- ・判定技術養成講習会(DENVER IIーデンバー発達判定法ー)を 7 回開催した。
- ・その他

(6) 小児保健セミナーの開催

- 1) 第 25 回小児保健セミナー「思春期の子育て支援～小児科の新たな課題～」
平成 20 年 6 月 15 日（日）に順天堂大学有山登記念講堂に於いて開催した。
参加者数は約 80 名であった。
- 2) 小児保健セミナー in 沖縄「小児保健ネットワーク」
平成 21 年 1 月 25 日（日）沖縄小児保健センターに於いて社団法人 沖縄県小児保健協会と共催し開催した。参加者数は約 120 名であった。

(7) 協会活動

- 1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、発育委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、栄養委員会、小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会・事故予防委員会）、乳幼児健診システム委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、健やか親子 21 協議会第 4 課題のそれぞれが本協会の目的のために活動した。
- 2) 中国大地震、ミャンマー・サイクロン災害、岩手・宮城内陸地震へ義援金を拠出した。
- 3) 第 18 回日本小児看護学会学術集会ランチョンパフォーマンスセミナー（平成 20 年 7 月 27 日（日）：名古屋国際会議場）において、「子どもの事故防止：チャイルドシートと看護師の役割」をテーマとしチャイルドシート啓発活動を行った。
- 4) 小児保健奨励賞について
《研究助成》
○重松 美智子・他（神奈川県厚木保健福祉事務所）
「医療機器等装置児の支援体制づくりについて（第 1 報・第 2 報）」
《実践活動助成》
○水野 宏子（山形県小児保健協会）
「鶴岡市すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会」
- 5) 支部活動
 - ・全国 47 支部が活動を続けている。また、各地においての小児保健研究会等の共催・後援、「こどもの健康週間」（日本小児科学会主催）の後援および参加をはじめとし、各種関連事業を後援している。
 - ・平成 19 年度支部活動報告（小児保健研究第 67 巻 4 号 P. 673-690 に掲載）

(8) 日本小児科連絡協議会

- 1) 日本小児科連絡協議会 6 回（日本小児科学会・日本小児科医会との合同で開催）

2) 合同委員会

- ・「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 4回
- ・自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 4回
- ・子どもとメディア委員会 2回
- ・予防接種委員会 4回

2. 平成 20 年度 収支決算案ならびに監査報告

*財務担当 五十嵐常任理事より平成 20 年度決算報告について報告された。
また、監査については、青木監事より報告され、いずれも承認された。

3. 次々期日本小児保健学会 会頭について

- ・第 58 回（平成 23 年）日本小児保健学会
衛藤会長より大西常任理事を担当会頭に推薦され、満場一致で承認された。

平成 21 年 4 月 17 日

社団法人 社団法人日本小児保健協会

議 長 衛藤 隆 ⑩

議事録署名人 後藤 彰子 ⑩

議事録署名人 山崎 嘉久 ⑩